



## 組合立南部中学校

福津市には12年間だけ開校されていた中学校がありました。



▲南部中学校の跡に立てられた石碑(上西郷区)

戦後まもない日本では、教育の民主化と自由化を求めて学制改革が行われました。この改革では、現在と同様の仕組みを持った中学校が新設されることになりました。しかし、校舎も備品も新しくそろえなければならず、日本中の市町村が困難に直面しました。

そのような状況の中、かつて市内に存在した上西郷村と神興村は、1947年に組合立の中学校を設立しました。ところが、開校までに校舎が間に合わず、神興小学校と上西郷小学校を間借りしての始まりでした。そして設立から2年後に、軍の施設を解体し、その資材を使って校舎を建設しました。

その後、町村合併が実施されると中学校も再編され、1959年には南部中学校は福間中学校と統合されました。

戦後の混乱の中、教育の現場も慌ただしく変化していきました。しかし、黒板やチョーク、用紙などの必需品はきっちりと準備されていたそうです。

